



## 教育講演会を開催

地域学校連携部会

11月7日(日)に井口生涯学習フェスタの一環として教育講演会を開催しました。昨年は新型コロナウイルス感染予防のため開催できませんでしたので、今回の第6回教育講演会は2年ぶりの開催でしたが、当日は設定した定員の65名の参加がありました。この教育講演会は地域の方々に井口の教育について考えていただくことを目的としています。今年は講師として南砺市川上中出身の小澤祐市さんと南砺つばき学舎の瀬戸広美校長先生をお招きしました。



小澤さんは井口保育園、井口小学校、井口中学校の卒業生で砺波高校から東北大学に進学されました。現在は東北大学多元物質科学研究所准教授として研究に取り組んでおられ、昨年とやま賞を受賞されました。とやま賞とは学術研究や科学技術文化などの分野で顕著な業績を挙げ、活躍が期待される県出身者や県内在住者を対象としている賞です。

講演会の進行は中嶋宏樹さんをお願いしました。はじめに、小澤さんの同級生である柳田和文さんに小学校や中学校時代の写真等やネット上の情報を駆使して楽しい講師紹介をしていただきました。

さて、小澤さんの「大学の研究職とは～何が今の自分を育てたか？」と題したお話は小学校、中学校時代の豊かな自然の中での同級生や地域の人々との深い繋がりから始まり、少人数だからこそみんながいろいろなことに挑戦できたという内容もあり、現在の南砺つばき学舎の教育目標「ふるさとを愛し、世界に羽ばたく子供の育成」に重なると思いました。理科の解剖の学習に使う魚を友達と釣ってきたという話は今となってはよき時代の話ですが、印象深かったです。

また、砺波高校90周年記念事業での東北大学の西澤教授の講演がきっかけで東北大学に進学し研究者の道に進まれたと聞き、小澤先生の人との繋がりを大切にする姿勢を、ここでもまた垣間見ることになりました。

さらに、研究者としての生活やレーザー化学などの仕事の内容についても丁寧に説明され、これからの研究は社会や人間生活に役立つことが必要であると熱い思いを語られました。研究を進めることの厳しさにも触れることができました。

最後に、中国の古典「孟徳新音」から引用された「天の時は地の利に如かず、地の利は人の和に如かず」が若き研究者としての小澤さんの心情であり、改めて井口地域や井口地域の教育を考えるよい機会となりました。

その後、『笑顔あふれる学校「チームつばき」』と題して瀬戸校長先生が南砺つばき学舎の説明を丁寧にしてくださいました。コロナ禍で学校に行くことができない祖父母世代にとって南砺つばき学舎を理解する大変よい機会となりました。

日々、お忙しい中、素晴らしいお話をいただいたお二人の講師の先生に、心より感謝申し上げます。

最後になりましたが、今年のとやま賞をこの教育講演会の第1回でお話をいただいた宮後出身の金沢大学医薬保健研究医学系講師で脳神経外科医の木下雅史さんが受賞されましたことお知らせします。おめでとうございます。

地域学校連携部会 部会長

令和元年3月に引っ越してきました、蛇喰地区の谷です。

すてきなご縁をいただき、こちらに引っ越してきてもうすぐ3年を迎えようとしています。子ども達は井口保育園に毎日元気に通っています。

地域の方や井口保育園で出会った方など、どの方も私達家族を温かく迎えて下さり、本当に感謝しています。自然豊かで温かみのあるこの井口でのご縁を大切に、これからも過ごしていきたいと思っております。まだまだ分からないことも多い私達ですが、今後ともよろしくお願いいたします。

谷 慎吾、奈津紀、颯真(そうま)、真任(さなと)

## ようこそ いのくちへ

令和3年8月末に家族3人で氷見市から井口地区に移住してきました 朝日 と申します。

地域の方々にとっても親切にいただき、楽しく新鮮な毎日を過ごしています。

これから少しずつ地域の方々と交流し、地域の為に何かお手伝いができるのが嬉しいです。どうぞよろしくお願いいたします。



## ほいくえんレポート

### 【 やきいも おいしいね♪ 】

保育園でやきいもをしました。大きい組の友達が朝からさつま芋を洗ったり、新聞紙やアルミホイルで包んだりして準備の様子を見て、焼き芋ができるのを楽しみにしていたかな・ぼたん組さん。おやつにあったか～いホカホカのやきいもをいただきました。とっても美味しくたくさんおかわりして食べました。 [ かな・ぼたん組 ]

